

発行所  
**OSTEC EXHIBITION HALL**  
**テクノ館 大阪科学技術館**  
 〒550-0004 大阪市西区鞆本町1丁目8番4号  
 TEL. 06(6441)0915 FAX. 06(6443)5310  
 http://www.ostec.or.jp/pop/

**テクノくんが行く!**  
**出展者訪問**



独立行政法人 **海洋研究開発機構**  
 (Japan Agency for Marine-Earth Science and Technology: JAMSTEC ジャムステック)



vol. **9**

「DONET」は、地震計や、水圧の変化から津波が起きるかを調べる水圧計などの観測装置を、地震が発生しそうな場所近くの海底20カ所に設置して、陸上局と海底ケーブルでつなぐ大規模なネットワークシステムです。

観測装置はとても精度が高く、陸の観測に比べてより近くで連続的に観測するので、海底のわずかなゆれや変化をとらえられます。観測データは海底ケーブルで、陸上局を経由し、さまざまJAMSTECや気象庁などに配信されます。海底地震や津波の発生時には、その観測データが瞬時に解析されて、地震の大きさをあらわすマグニチュード、震源(発生場所)、津波の到達予測時間などを

**地震や津波を監視するDONET**

海底の **地震や津波のみはり番**  
**地震・津波観測監視システム**  
**DONET**



今、紀伊半島沖の海底では、「地震・津波観測監視システム(DONET)」の設置が進んでいます。今回はそのシステムを、ご紹介します!

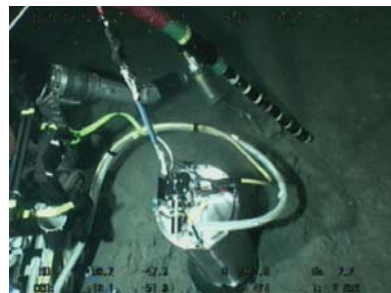
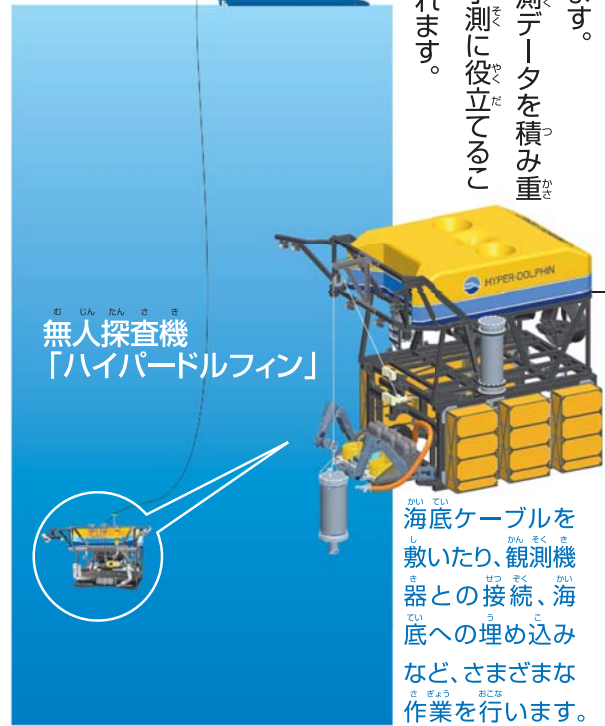
**地震を調べる地震計**

地震はどのようにして調べるのでしょうか? 地震が発生すると、地面がゆれます。ゆれの大きさや方向をさまざまな場所

所で観測すれば、地震の大きさや震源の位置がわかります。そこで、地面のゆれを正確に観測して記録する

地震計が、全国に設置されています。

ところで、地震は陸だけではなく海底でも発生します。海底地震は津波を起こすかもしれない。陸からの観測では、海底地震や津波の発生が分かるまでに時間がかかります。そこで、海底で地震や津波を直接観測するために誕生したのが「DONET」です。



速やかに明らかにします。そして、緊急地震速報としてニュースや携帯電話への情報発信に役立てられます。研究者は、「DONET」によって、警報が出るのが、地震は最大8秒、津波は最大5分ほど早くなるだろう」と話します。

将来は、観測データを積み重ねて、地震予測に役立てることも期待されます。

**みんなの生活を**  
**守るために**

「DONET」を設置している紀伊半島沖は、100~150年おきにくりかえし発生する東南海地震の震源域です。これまで紀伊半島の町々は、地震や津波による被害を何度も受けてきました。被害をできる限り減らせるようにJAMSTECは「DONET」の設置を進め、また、観測装置の開発や研究を続けてみなさんが安心して暮らせる社会を目指します。



独立行政法人 **海洋研究開発機構**って、こんな研究所

研究船や潜水船、観測装置を使って世界中の海を調べる研究機関です。全国に5つの研究施設があり、見学ツアーや一般公開なども実施しています。船を一般公開することもあるので、ぜひ遊びに来てください。



海洋研究開発機構  
 〒237-0061  
 神奈川県横須賀市夏島町2番地15  
 http://www.jamstec.go.jp/

